

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	36735
事業名	映像産業振興費					
評価担当課	所属名	経)産業振興部 地域産業振興課				
	課長名	小室 匡	担当者名	伊藤 実花	電話番号	011-211-2392
施策名	主	創造性を生かしたイノベーションの誘発				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	本事業実施による市内直接経済効果額(R1:120,357千円 ⇒ 目標(R4):200,000千円)			
		長期	○映像の持つ直感力や訴求力を活用することで、「世界が憧れるまちさっぽろ」の実現を目指す。			
	取組内容	映像関連産業の振興とともに、観光インバウンドや地場商品の海外販路拡大につなげていくため、映像を活用した施策を幅広く展開する。 ○フィルムコミッション事業(ロケ撮影誘致のための営業活動、ロケ撮影に関する問合せや相談への対応、ロケ撮影支援、ボランティアエキストラの募集・管理、誘致作品を活用したプロモーション展開)、○映像制作助成金の交付、○グローバル映像ビジネス支援事業(国内外の国際映像商談会への出展支援、海外の映像事業者とのネットワーク構築や情報収集への支援など)○地場産業活性化事業(企業の映像活用促進支援など)等				
	実施結果	○市内での円滑なロケ撮影のための相談57件に応じたほか、道外での展示会に赴き、ロケ誘致活動を行なった ○映像制作助成金において、映画・ドラマ3件、プロモーション10件を採択し、計33,600千円の助成金を交付した ○市内食関連事業者の海外輸出に向けた映像活用イベントや国際映像商談会へのオンライン出展を実施 ○映像をつかう側(食品・工業製品メーカー等)、つくる側(映像事業者)それぞれに向けたセミナー及びマッチングイベントを実施				
事業実施における工夫点	市・さっぽろ産業振興財団のほか、映像関連事業者団体や道内他市町村とも連携しながら事業を進めた					
対象者	映像関連事業者、市民	開始	平成28年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	○映像の力により世界が憧れるまちさっぽろを実現するための条例 ○札幌市映像活用推進プラン					
他都市の状況	○ロケ誘致に取り組んでいる自治体のなかには、佐賀県、北九州市などインセンティブ制度を設けている自治体も多数存在する。 ○全国の自治体等が運営するフィルムコミッションの多くは観光・まちづくりセクションで所管している。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	79,638	97,000	76,561	107,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.8	1.0	1.0	1.0	
人件費	5,760	7,200	7,200	7,200	
計(事業費+人件費)	85,398	104,200	83,761	114,200	
事業費の内訳	令和3年度決算	(一財)さっぽろ産業振興財団への補助金:72,700千円 事務費:3,861千円			
	令和4年度予算	(一財)さっぽろ産業振興財団への補助金:105,400千円 事務費:1,600千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	本事業実施により誘致した映画・ドラマの件数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	3件	3件	4件	3件	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	本事業実施による市内直接経済効果額			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	81,919千円	182,500千円	152,798千円	20,000千円	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	新型コロナウイルスの影響によるロケ撮影の減少から完全に回復したわけではないが、感染対策を徹底しての大規模な撮影も実施され、目標としていた誘致件数は達成した。また、一般企業による映像活用を促進するためのマッチングイベントでは、企業側10社・映像事業者10社の参加があり、今後の発注につながりそうな商談を8件創出した。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	札幌市映像活用推進プランの基本施策に基づき、市内映像事業者への支援のほか、地域活性化・経済活性化を図ることを目的とし、市民や一般の企業に向けた取組みも行っていることから、事業規模は適切であるとする。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	映像産業の振興においては、関連産業の発展はもとより、他産業での映像活用を促進することも非常に重要。(一財)さっぽろ産業振興財団は販路拡大支援部があるなど、市内企業とのネットワークを保有しているため、当該財団を担い手として本事業を行うことは適切である。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	企業と映像事業者のマッチングイベントで実施したアンケートでは、すべての参加者から内容に「満足」または「やや満足」という回答を得るなど、市内映像事業者のニーズを捉えた支援施策を提供できている。			
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	令和3年度、検討委員会での意見交換やパブリックコメントなどを経て改訂した「第2期札幌市映像活用推進プラン」を着実に実行していく。				
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	新型コロナの影響により海外からの映画誘致や国際共同制作の取り組みが難しかったため、地場の企業と映像事業者の結び付けを強めるマッチングイベントを実施した		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	市内映像事業者や映像をつかう側の企業など、それぞれのニーズを捉えた施策を企画・運営することができているため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input checked="" type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 令和4年度、人材需要の高まっているゲーム分野において民間企業と実行委員会を立ち上げ、小中高生や若手ゲームクリエイター向けのワークショップを実施する(10月予定)。令和5年度以降、このプラットフォームを有効活用しながら市内の人材育成に力を入れていく。			
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 事業内容の検証、見直し結果を踏まえて、適切な予算措置を行う。		見直し効果額	0